

## <ウガンダ通信>

子ども支援学会会員の皆さま:

お変わりなくお過ごしのことと思います。2年半ぶりにウガンダに戻って1週間が経過しました。車を2年半近くそのままにしていたので、車のオーバーホールを最初に行いましたが、バッテリーなどあちこちに不都合が見つかり修理が大変でした。また、車の保険も切れていて、現在はその入手に努めています。修理が終わり、保険が入手出来たら Kitgum に行く予定です。以下、ウガンダの状況を報告します。

### ①ロシアのウクライナの侵攻について

ウガンダのテレビでは戦闘の放送がたまにありますが、人々はほとんど関心がありません。話題にもなりません。また、ムセベニ大統領の後継者と噂されている息子(軍人)が、「ロシア<プーチン>は全く正しい。キューバ危機の時のアメリカの行動を見ればロシアの行動は理解できる。」と公言しましたが、大統領は否定も肯定もしていません。背景として、アフリカの植民地時代におけるイギリスやフランス・ベルギーなど宗主国が酷い行い(搾取や虐待など)を行ったことへの恨みや反感などがあること、また、第二次大戦後に植民地だった国が独立運動を戦った際に、東西冷戦を背景にソビエトが独立運動を支援したことへの恩義などがあるようです。そのため、国連でロシアの侵攻を非難する決議に対して多くのアフリカ諸国が反対か棄権をしたのです。こうしたことはアフリカに來ないと分からないですね。ですから、ロシアに対する日本人の反応とは相違しております。

### ②諸物価の高騰について

ロシアの侵攻の影響はウガンダにも及んでいます。ガソリン価格は2倍に高騰しており、交通量が激減しています。また、小麦粉も高騰し、パンの値段も2倍近く高騰しています。しかし、一般人が購入する野菜や果物は地産地消なので、10%から20%程度の値上がりにとどまっております。そのため、今のところ一般の人々の生活への影響は少ないようで、物価高騰への抗議運動などは起きていません。しかし、貧困層が増えているので、日本大使館からは、治安が悪くなっているので、気をつけるように注意を受けています。今後、ロシアとウクライナの戦争が長引けばウガンダでも社会不安が広がる可能性があります。

### ③新型コロナについて

ウガンダでは2020年から2021年にかけて、ロックダウンが何回か実施され、混乱が続いたと聞きました。また、2021年12月から2022年1月にかけて、週当たり1万人以上の感染者が発生しましたが、その後、急速に感染者が減少し、現在は1週間当たり500人程度です。今年の4月にムセベニ大統領が「2回ワクチンを打った者は、屋外ではマスクをしなくても良い」との大統領令を出しました。そのため、大型ショッピングセンターや銀行・役所では職員はマスクをしており、アルコール消毒液も備え付けられておりますが、

屋外ではマスクをしているウガンダ人は非常に少ないです。(ウガンダでは、2回ワクチンを打った人は50%程度と聞いていますので、本来ならばマスクをしなければならない人も屋外でマスクをしていない可能性があります。そのため、私達は、外出する時や人と話をする時は、いつもマスクをしています)コロナは引き続き要注意です。

#### ④中国の経済進出について

以前から、中国はアフリカ諸国に進出しておりますが、ウガンダでは、コンゴとの国境の近くで石油が発見され、その採掘権を中国が押さえており、石油を担保にウガンダ国内で盛んに建設工事を行っております。つい最近も、中国が、ムセベニ大統領が所属する与党のNRMのビルを31階建ての高層ビルに建て替える計画がマスコミに発表になったばかりです。また、私達が活動しているKitgumでも中国が大きな市場の建物や市内の道路工事を行っております。中国国内では、コロナのために経済活動が停滞しているようですが、ウガンダなどアフリカ諸国に対して、中国は経済支援活動を引き続き活発に行っております。日本政府もJICAなどが頑張っておりますが、中国とは支援規模が違いすぎます。中国の物量の前にはお手上げ状態です。

以上、長くなりましたが、この1週間で見聞きしたことです。日本は猛暑と聞きました。どうぞ、十分ご自愛なさってお過ごしください。ご健勝をお祈りします。みなさま、お元気で。

宮本宗一郎・一江(在ウガンダ)